

新型コロナワクチン接種

岩崎通信機(株)の協力により

「ワクチン冷凍庫」温度監視システム実証実験を開始しました

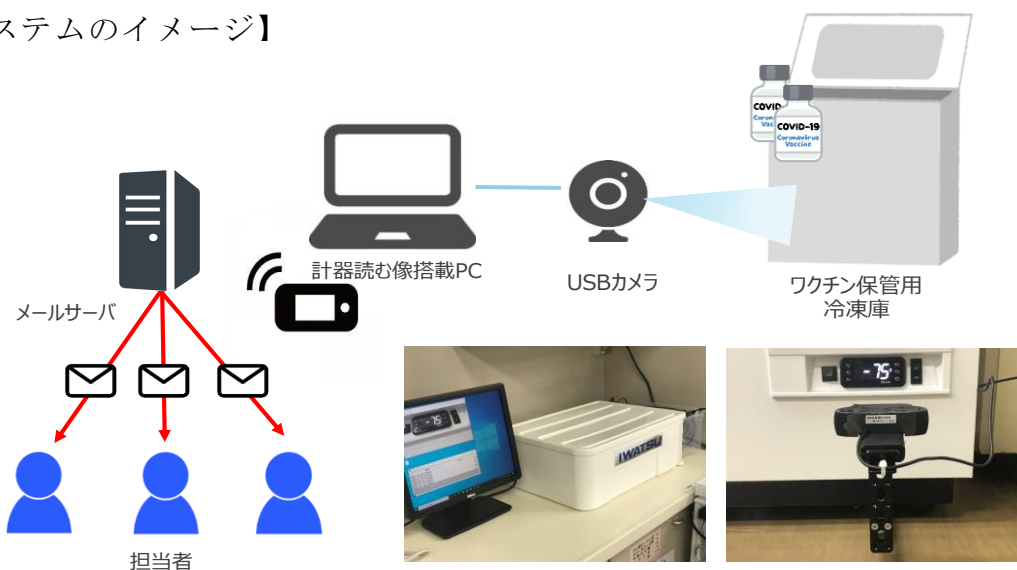
「ワクチン冷凍庫」の電源トラブルにより、適切な温度管理がされず、新型コロナワクチンを廃棄した事例が、全国的に報告されています。このようなトラブルを事前に察知するため、岩崎通信機株式会社の協力を得て、「ワクチン冷凍庫」の温度監視システムの実証実験を開始しました。

これまで、ワクチン集団接種会場の「ワクチン冷凍庫」(8カ所/9台)の温度管理は、担当者による定期的な目視確認により行っていました。しかし、他自治体では、職員不在時の冷凍庫の不具合がワクチン廃棄につながった事例もあり、また、担当者の負担も大きいことから、安定した冷凍庫の温度管理が課題となっています。そんな折、区内事業者である岩崎通信機株式会社(杉並区久我山1-7-41)から、温度監視システムの実証実験(PoC)について提案があり、運用テストを開始しました。

今回、導入した温度監視システムは、同社が開発したメーター自動読取りソフト「計器読む像」の機能を活用します。「ワクチン冷凍庫」前面にある「温度計」の前にUSBカメラを設置し、カメラ画像を数値化して、冷凍庫内の温度が正常範囲を超過した場合に、担当者にメールで通知する仕組みとなります。これにより、早朝や夜間などであっても、急な電源トラブルを早期に察知し、温度管理が原因によるワクチン廃棄防止が可能となります。

岩崎通信機株式会社の廣岡課長は、「少しでも地域に貢献できればという思いで、温度監視システムをご提案させていただきました。杉並区民の皆様の安全なワクチン接種の一助となることを願っています。」とコメントしました。

【システムのイメージ】



【問い合わせ先】

新型コロナウイルス予防接種担当：03-3391-1379 (直通)
総務部広報課：03-3312-2111 (代表)